

会議録

会議の名称	第8回（平成25年度第5回）西東京市農業振興計画推進委員会
開催日時	平成26年1月28日（火曜日） 午前9時から10時まで
開催場所	保谷庁舎 防災センター 講座室2
出席者	委員： 後藤委員長、北沢副委員長、長谷川委員、吉川委員、松本委員、中里委員、保谷委員、櫻井委員、大谷委員、村田委員、西村委員 事務局： 萱野課長、矢澤主幹、五十嵐課長補佐、師岡主事
議題	(1) (仮称) 第2次西東京市農業振興計画（素案）パブリックコメント実施報告について (2) (仮称) 第2次西東京市農業振興計画報告書（案）の承認について
会議資料	第7回委員会会議録 資料1 （仮称）第2次西東京市農業振興計画（素案）パブリックコメント実施報告 資料2 （仮称）第2次西東京市農業振興計画報告書（案）
記録方法	全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○委員長： 定足数に達しているので、第8回農業振興計画推進委員会を開催させていただく。まず、傍聴者の確認をお願いする。</p> <p>○事務局： （「傍聴者なし」の報告）</p> <p>○委員長： 資料の確認をお願いする。</p> <p>○事務局： （配布資料の確認）</p> <p>○委員長： 会議録の承認を行う。</p> <p>○事務局： （会議録についての説明）</p> <p>○委員長：</p>	

会議録についてご意見、修正等があるか。

(特に意見なし)

会議録については承認して、公開する。

それでは、議題(1)「(仮称)第2次西東京市農業振興計画(素案)パブリックコメント実施報告について」事務局からの説明を求める。

○事務局：

(資料1に関する説明)

(仮称)第2次西東京市農業振興計画(素案)については、昨年12月9日から本年1月10日までパブリックコメントを実施した。情報公開コーナーでの公開、市HPでの公開、意見募集の手続きを行ったが、提出意見は無かった。

また、同様に現在策定中の産業振興マスタープラン中期計画についてもパブリックコメントを実施したが、提出された意見は1件であった。市も合併から10年経過し、現在各課で計画を作成している中、HPだけでなくFacebookでも情報発信しているが、全般的に市民からの反応は少ない状況である。

委員長：

議題(2)「(仮称)第2次西東京市農業振興計画報告書(案)の承認について」を議題とする。

○事務局：

議題の(1)で報告したとおり、パブリックコメントによる市民意見はない。従い、パブリックコメント前に、委員の皆様にご承認いただいた内容から、変更点はない。以上のことから、事務局としては、現行の報告書(案)をもって、「確定版」としたいと考えている。

委員長：

委員の皆様から、ご意見又はご質問があれば受ける。

副委員長：

「生産緑地地区制度」という単語は正しいか。

○事務局：

内容については、事前に都市計画課に確認しているが、再度確認する。

委員：

45ページ補章、安全安心農業推進事業の対象拡大、「⑦東京都エコファーマー取得者への補助制度の確立」について、東京都では1月より「エコ農産物認証制度」を開始しているた

め、表現として変更した方が良いと思う。

○委員長：

表現を変更する。「東京都」を削除し、括弧付けで「平成26年1月から東京都エコ農産物認証制度」と付記する。軽微な変更なので、事務局に修正を一任することによろしいか。この変更により、報告書の確定案にする。

(異議なし)

委員長：

続いて、議題の3「その他」である。委員の皆様から何かあれば、挙手をお願いする。

○委員：

市町村が策定する農業振興計画については、農業経営基盤強化促進法における基本構想に位置付けるため、形式的な手続ではあるが、法第6条5項に基づき、東京都知事の同意が必要となる。従い、今後、東京都農業会議にもご協力をいただきながら、西東京市と東京都で協議を行い、手続を完了したい。

委員長：

他に何かあるか。

○事務局：

(資料説明)

都市農業フォーラムをご案内する。「都市と農業が共生するまちづくり事業」の総括として実施する。3月15日土曜日午後1時から午後3時半までの時間にて、保谷庁舎別棟で開催する。委員の皆様も来賓として招待するので参加をお願いしたい。一般来場者には広報する。農業普及啓発ソングについては、現在、市民の方々から意見募集している。2つの楽曲の案を提案しており、委員皆様からもご意見をいただければと思う。

次回の委員会は、来年度に入ってから改めて調整させていただくため、しばらく間が空くことになる。本日の会議録については、後日、郵送させていただき、委員全員のご了承の後、公開の手続を取らせていただく。

○委員長：

事務局の説明のとおり、皆様のご了解をいただいた後、公開したいと思うが、異議あるか。

(異議なし)

異議がないので、そのように取り扱う。最後に、事務局から今後の予定を説明していただく。

○事務局：

2月上旬に正副委員長から市長に対し、報告書を提出いただく。その後、3月中に「第2次西東京市農業振興計画」を決定、3月20日までに計画書を製本し、後日、委員には郵送させていただきます。

また、平成26年第1回定例会で予算審議を行い、承認の後、4月から計画に基づき、事業を執行していく。

今後の推進委員会では、継続的に実施する事業の推進、検討事業の審議を進めていただく。平成26年度の然るべき時期に委員会を開催する。

○委員長：

委員会では今後も継続して、事業の推進を協議していく。

委員皆様のご尽力により、本日が報告書の承認という大きな節目を迎えることができました。

皆様から一言ずつ感想などをお願いしたい。

○委員：

委員会では、私なりの視点で意見を言わせていただいた。事務局には良くまとめていただいたと思う。ただ、委員会での資料は事前にいただいているので、当日配布はなくても良いと思う。

○委員：

当初は農業の実情が分からない中で、委員会に関わり、何ができるか試行錯誤の中ではあったが良い勉強をさせていただいた。日常、まちの姿を見る目も変わり、農産物への関心も変わってきた。今後も市民として、「農業のサポーター」になれたらと思っている。

委員：

改めて様々な立場からの意見が聞け、大変有意義な委員会であったと思う。今後の事業に対する責任も感じており、今後とも皆様の協力を仰いで、事業を推進していきたい。

○委員：

農業者の皆様などの意見を伺うことができ、非常に勉強になった。今後とも、東京都という立場から支援させていただく。

○委員：

事務局の方々にはお世話になった。中央農業改良普及センターとしては、普段から農家の意見を聞く機会も多いが、改めて目に見える形で、現在の農業の課題等について意見交換でき、勉強になった。今回の経験を今後の糧にしていきたい。

○委員：

様々な意見を聞くことができ、有意義であった。市の立場としては、田無、保谷の合併に

より、両方を「立てる」ことに苦勞されたと思うが、これからは西東京市を一つとして一致団結し、JAの力も借りながら進めていけたらと思う。農家の皆様にも、今回策定する市の計画を認識してもらい、協力できるように意識付けをしていきたい。

○委員：

事務局の皆様には感謝する。以前、旧保谷市での農業振興計画策定の際にも参加したが、良い計画を作り、作った以上はそれを確実に推進していくことが重要である。今後も推進委員会による進行管理がされるということなので、事業のフォローアップをしていきたい。

○委員：

農家として、いろいろ勉強になった。畑での仕事だけでは分からないことも、今回知ることができて感謝している。農業振興を目に見える形で実現することの難しさを、改めて実感している。農業振興に直接結びつくかどうかは、市としても苦勞することだと思うが、農家も振興のために力を出していかなければならないと考えている。農業従事者は少なくなっているが、できるだけ長く農業を続けられるよう、これからもがんばりたい。

○委員：

農業委員会は農地保全の有益性や農業の重要性を訴えてきたが、今回策定した計画は、具体性のある計画として評価する。平成26年度から35年度までの10年間、実のある計画として実行していただきたい。

副委員長：

大変勉強になった。東京都農業会議の立場としても、地域の課題を知ることになり良かった。10年間でもいろいろな動きがあると思うので、アンテナを張りながら、環境の変化に対応していただければと思う。

○委員長：

委員の皆様、それぞれの立場から活発な意見をいただき感謝している。農業を取り巻く情勢は、減反廃止、TTPも合意には至っていないが、その方向で協議が再開し、農業への規制緩和とグローバル化は進んでいくような状況にある。そのことが、直接都市近郊の農家には影響は少ないかもしれないが、大きな流れの中で、影響は必ずある。

都市農業の振興は議論していても難しく、特に農地を守っていくことは難しい状況にある。農業者と市民の努力のもとで進める以外に方法はないと思う。そのもとで、国や自治体も制度を整えるという方向が生まれてくる。その意味でも、今回策定する計画を、皆様の力で少しずつ進めていくことが必要である。都市農業を長い間研究してきたが、少しずつ変化は生まれていると思う。

また、農業者の方々が、市の農業振興計画を知らないことも多いと思う。農業者への周知・理解を得ていくことも必要である。

今後とも、計画を推進するために、私自身も努力していきたいと思う。

以上をもって、「第8回西東京市農業振興計画推進委員会」を閉会する。

閉会